

市民広聴会「まちづくりエリアミーティング（第2回）」
意見交換内容まとめ（概要）

< テーマ > 市政全般

日時	令和4年6月4日（土）10時～11時30分
会場	西部地域交流センター・やはぎかん
出席者	市長、参加者55名

回答については、当日の意見交換内容に加え、市の今後の対応予定等も記載しています。

参加者意見	回答
<p>< 子どものための施策について ></p> <p>矢作地区は子どもの人数が増えている。共働きの家庭が子どもの家や児童育成センターに子どもを預けたいが、定員より利用希望が多いので、預けられない現状がある。今後も子どもの人数が増えていくと考えられるが、すでに子どもが増え教室やグラウンドが狭くなってきている。子どもは今の狭い環境でどんどん成長していってしまう。市政報告の10の寅年ビジョンにも「とにかく子どもの取組み」とあるので、少人数学級をはじめ子どものための施策を早急に進めてほしい。</p>	<p>< 子どものための施策について ></p> <p>体育館・屋外運動場の拡張希望など、子どもの人口増加に対する要望の声は届いています。小学校は、令和5年度から段階的に32人学級を導入予定であり、学級数が増加する場合は必要な整備を行います。矢作北中学校の体育館や運動場に関する要望については、運動場の拡張を優先的に検討していきます。</p> <p>矢作北児童育成センターは、定員65人に対し、倍近い利用希望があり、多くの児童が利用できない状況であることについて、大変大きな課題であると認識しています。地元からも要望を伺っているところであり、関係機関と協議し、対応に努めていきたいと考えています。</p>
<p>< 山車文化への支援について ></p> <p>山車文化への支援について要望する。檜山、本宿も有名だが、矢作にも山車がある。180年の伝統の山車である。修理、</p>	<p>< 山車文化への支援について ></p> <p>矢作町3区、矢作町2区の山車については、岡崎市指定有形民俗文化財に指定されており、ぜひ伝統ある文化を守っていきたくと思っています。</p> <p>現状、本市の地域の祭や山車に係る補助金制度では、山車や小屋の修繕、</p>

<p>保存、伝承、^{まつりごと}政を町内会で行っているが人材、経費の面で町内会のみで継続するには厳しい状況になってきている。費用面で山車のえい航ができない部署もある。(後継者・費用面で継承が難しい。)文化継承のため支援についてどのようにお考えかお聞きしたい。</p> <p>えい航に対する補助があると助かる。(イベント代など)</p>	<p>祭礼に使用する用具の整備に対して補助を行っています。イベント経費(飲食や人件費など)は対象外となります。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
<p><公共交通の整備と地域内交通の実証実験について></p> <p>高齢者の交通事故のニュースを目にする機会がある。名鉄バスは乗者数が少ないが、必要な交通手段だ。免許証返納したときに循環バスなどの公共交通がないと外に出づらくなってしまふ。外に出ることが認知症予防など様々な良い点があるので高齢者が外に出ていけるよう、公共交通の整備を進めてほしい。</p> <p>地域内交通の実証運行が行われることはとてもうれしい。実証運行について乗車料金など具体的に知りたい。</p>	<p><公共交通の整備と地域内交通の実証実験について></p> <p>矢作地域の地域内交通の実証実験につきましては、まだ詳細が決まっておりません。決まり次第、矢作地域全体に御案内いたします。導入検討会議においては、地元の皆様により、21回もの検討の場が持たれ、いよいよ令和5年1月以降実証運行を開始したい、というところまで検討が進んでおります。地域に合った公共交通の実現には、手間も時間もかかりますが、地域の積極的な取組を全力で応援します。</p> <p>また、矢作地域では地域内交通の検討と並行して、既存の名鉄バス路線の再編が行われました。これにより、概ね1時間に1本の運行が確保されております。皆さんでもっと利用していただければ、運行本数も増え、より利用しやすくなると思われまふ。</p>
<p><渋滞解消のための道路建設について></p> <p>国道1号線から安城・西尾方面に向かう道路(桜井線県道44号線)がある。この道路は小学校・保育園・スーパー・病院などがあり生活道路になっているが、JRの踏切があり毎朝慢性的に渋滞している。緊急車両も渋滞を回避するために別の道路を使っている。以前、迂回できるバイパス(県道26号線)を建設する計画があった。いつ着工・完成するのかなどの情報が入ってこないのて教えてほしい。住民は一刻も早い</p>	<p><渋滞解消のための道路建設について></p> <p>矢作南部学区における県道26号線のバイパスに関しては、都市計画道路豊田西尾線として計画があり、事業主体は愛知県となります。現在、事業化に向けた測量や設計が進められているところです。昨年度にはJRとの協議も始まったところであり、今後も公安委員会や都市計画関連部署などの関係機関との協議調整を行っていく予定と聞いております。</p> <p>今後も県と市での協力体制のもと、整備促進に取り組んでまいります。</p>

<p>実現を望んでいる。</p>	
<p><南北道路の計画について> 一日でも早く南北道路が実現するような計画をして欲しい。地権者の御理解がなければできないことであるが、計画の変更をしてでも早く作らなければならないと思っている。都市計画道路は一度計画すると変更ができないものなのか教えて欲しい。</p>	<p><南北道路の計画について> 都市計画道路は、都市生活者の利便性の向上、良好な都市環境を確保するうえで必要な都市の骨格を形成する施設として都市計画に都市計画施設として定められています。 都市計画施設は、交通事情などの都市の現状や将来の見通しなどから判断し、適切な規模で必要な位置に定められており、都市計画変更を行うには、地権者のご理解が得られないだけでは難しく、その必要性、効果を明らかにするとともに、将来の都市のあり方などの広域的な観点が必要となるため、今後とも事業主体である愛知県と連携調整を図ってまいります。</p>
<p><シェアサイクル導入について> 矢作地区は南北に長く、南から西岡崎駅、矢作橋駅、北には北野榊塚駅がある。東西の交通手段はそれなりにあるのが、南北がもう少し活性的に移動できるようになると選択枝が増え、地域のポテンシャルが上がると思う。バスや公共交通機関、道路の整備の問題もあるが、例えば自転車があれば駅間を移動しやすくなると思う。健康にも良い。一つの例として、矢作地区でもレンタサイクルを導入したらどうか。中心市街地では既に導入されているが、矢作地区には、拠点を結ぶ大学や、ショッピングセンターもある。導入することの課題があったら教えて欲しい。</p>	<p><シェアサイクル導入について> 自転車の話はとてもいいアイデアだと思います。康生町、東岡崎駅、市役所地区にはシェアサイクルを導入していて、利用率が全国トップクラスです。もっとシェアサイクルの拠点を増やしてほしいという御意見もあるので、大河ドラマ「どうする家康」に向けても増やしていきたいと思っています。 矢作地区におけるシェアサイクル事業については、予算の目途がつき次第、実証実験を行い導入に向けた検討を実施していく予定ですので、駅やショッピングセンターをシェアサイクルの拠点とすることはぜひ考えてみたいと思います。</p>
<p><消防団員の任期について> 町内の役員は、総代、民生委員、老人クラブなどいろいろあるが、なかなか手がない。特にその中でも消防団員と</p>	<p><消防団員の任期について> このようなお話は全市的にある話で、例えば岩津地区では2つの消防団を統合したいといった御要望が総代会を通じて出されたりしています。</p>

<p>というのは本当に苦慮していて、抽選になって決まったことがある。抽選でなくて何とか内諾をとって任命したいと思う。消防団員の任期は6年と長いため、3年にしてもらえないか。</p>	<p>消防団条例に6年という任期が示されていることで団員の加入促進に影響があるということであれば、条例から任期を削除することも可能ではありますが、まずは「必ず6年間在籍しないと退団できない。」というような勧誘の仕方をするのしないように各団長に周知を図っていきたいと思います。</p>
<p><市役所職員の対応について> 今まで、市役所は敷居が高く、身構えて行かないといけなかったが、最近は変わった。例えば、側溝に蓋をしてくださというようお願いをメールしたところ、次の日くらいには電話がかかってきて状況を説明してくれたり、看板でもすぐに準備してくれたり、防災機材についてもいろいろとアドバイスをくれた。非常に優しく、行きやすくなったと感じる。ぜひ今後もそのような形で続けていただければと思う。</p>	<p><市役所職員の対応について> ありがとうございます。あとひと手間というようなことが、職員の中に浸透していたという結果であれば、私としてもありがたい話です。職員自らがあるべき姿というものをよく考えて丁寧に対応しているのだらうと思います。嬉しい言葉をいただいたということを職員に伝えさせていただき、より一層継続するようにしたいと思います。</p>
<p><水の備蓄について> 防災ガイドマップには、水を一日一人3リットル、できたら1週間分くらい備蓄するようにとされている。例えば、3人家族だと、1日9リットル、1週間で63リットル必要ですが、ペットボトルでも大量に必要で備蓄ができていない。 水道水を3カ月くらい保存できる方法を専門的な知識を持つ方にぜひ考えてもらいたい。</p>	<p><水の備蓄について> 水の備蓄については、厚生労働省が、成人男性が1日に必要とする水分量は2.5Lで、災害時においては、健康な身体を維持するために、1日3Lの摂取が望ましいとしており、1日3Lの備蓄をお願いしております。 備蓄量については、南海トラフ地震被害予測調査報告書(平成27年3月岡崎市)で、発災から7日目には、上水道の断水率が直後の90%から15%まで回復する想定をしており、本市では各家庭において「最低3日間、推奨1週間」をお願いしております。 備蓄の方法については、1年で必要量を購入することは、購入金額の負担が大きく、期限切れのおそれもあり難しいので、数年計画で備蓄していくことをお勧めします。期限切れが迫っているものは、平時に消費し、その分を再度購入していただくことで効率の良い備蓄が可能となります。 水道水を安全に飲用できる期間は、残留塩素がある間になります。充填方</p>

	<p>法、保管状況により異なることから一概に何日とは言えませんが、一般的に常温で3日、冷暗所等で7日程度とされています。充填方法や保管状況に依存することから長期間の保管用としては、雑菌等が入らないよう充填し、充填後再度殺菌処理等されている市販のペットボトルの水を推奨しております。暗所において保管することで長期間の保存が可能です。</p> <p>また、期限が切れてもそのまま備蓄していただくことで、災害時に雑用水として有効利用できます。</p>
--	--

(了)